

安全データシート (SDS)

1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等名称（製品名）	エアクレンス FC-H25A
会社名	日本ケムトレックス株式会社
住所	〒174-0043 東京都板橋区坂下 1-39-13 甲子ビル5F
電話番号	03-3430-1139
FAX番号	03-5761-5265
緊急連絡先電話番号	03-3430-1139
推奨用途及び使用上の制限	消臭剤

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	区分外
健康に対する有害性	区分外
環境に対する有害性	区分外

ラベル要素

絵表示又はシンボル	なし
注意喚起語	なし
危険有害性情報	なし
注意書き	なし

3. 組成及び成分情報

単一物質または混合物の区分	混合物
化学式または一般名	植物抽出物、アミノ酸、無機塩類、グリセリン、尿素、純水
成分及び濃度又は濃度範囲（含有量）	

成分	重量%	CAS No.	官報公示整理番号
植物抽出物	32-35	非公開	非公開
アミノ酸		非公開	非公開
無機塩類		非公開	非公開
グリセリン		56-81-5	(2)-242
尿素		57-13-6	2-1732
純水	65-68	7732-18-5	—

4. 応急措置

吸入した場合	水でよくうがいをする。多量に吸入して気分が悪くなった時は、空気の新鮮な場所へ移動させ、安静、保温に努める。
皮膚に付着した場合	速やかに水、石鹸で洗い流し、異常があれば医師に相談する。
目に入った場合	速やかに清浄な水で15分間以上洗眼する。刺激などの異常が認められる場合には、医師の手当を受ける。
飲み込んだ場合	水でうがいをする。多量に飲み込んだ場合は、水をのませ吐かせるなどの処置をし、異常があれば医師に相談する。
最も重要な徴候及び症状	特になし
応急措置をする者の保護	救助者は、状況に応じて適切な眼、皮膚の保護具を着用する。
医師への情報	特になし

5. 火災時の措置

このものは非燃焼物のため非該当。固形物は燃焼するのでその際は、以下の点に注意する。

消火剤	水、泡沫、炭酸ガス、乾燥砂
使ってはならない消火剤	特になし
火災時の特有の危険有害性	燃焼生成ガス中には有害ガス（CO _x 、NO _x ガス等）が発生する。
消火を行う者の保護	消火を行う際は、必ず保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

状況に応じて適切な保護具（防塵マスク・化学防護服・手袋・眼鏡・長靴等）を必ず着用する。

環境に対する注意事項	漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないよう注意する。
回収、中和	床面などにこぼれた場合は、直ちに拭き取り、空容器に回収し、廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策	皮膚に付いたり、噴霧したものを吸入しないように必要に応じて適切な保護具を着用する。
-------	---

保管

適切な保管条件	容器を密閉して冷暗所に保管する。
安全な容器包装材料	ポリエチレン容器など錆の発生を防ぐ容器を使用する。

8. 暴露防止措置及び保護措置

設備対策	取扱い場所の近くに、洗顔及び身体洗浄のための設備を設ける。
管理濃度、許容濃度	設定されていない
保護具：	
呼吸器の保護具	保護マスクを使用する。
手の保護具	保護手袋を使用する。
目の保護具	安全ゴーグル型保護眼鏡を使用する。

9. 物理的及び化学的性質

外観	無色透明液体
臭い	微臭
pH	6.8±1.0 (25℃)
融点	データ無し
沸点	データ無し
引火点	データ無し
発火点	データ無し
比重	1.172±0.050 (25℃)
溶解性	水に溶解
オクタノール／水分配系数	データ無し
その他のデータ	データ無し

10. 安定性及び反応性

安定性	通常の使用条件では安定。
危険有害反応の可能性	通常取り扱いにおいては危険な分解や重合は生じない。
避けるべき条件	160℃付近まで加熱するとアンモニアガスを発生する可能性がある。
混触危険物質	強酸化剤、強塩基
危険有害な分解生成物	アンモニア、一酸化炭素、二酸化炭素、窒素酸化物。

11. 有害性情報

急性毒性（経口）	区分外
皮膚腐食性／刺激性	区分外
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分外
呼吸器感作性又は皮膚感作性	データ無し
生殖細胞変異原性	データ無し
発がん性	データ無し
生殖毒性	データ無し
特定標的臓器／全身毒性（単回暴露）	データ無し

特定標的臓器／全身毒性（反復暴露）	データ無し
吸引性呼吸器有害性	データ無し

12. 環境影響情報

生態毒性	データ無し
残留性／分解性	データ無し
生体蓄積性	データ無し
土壌中の移動性	データ無し
他の有害影響	データ無し

13. 廃棄上の注意

紙やウエスなどの可燃物に吸収させて焼却するか、少量であれば多量の水で洗い流す。
都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理する。

14. 輸送上の注意

国際規制

国際分類	該当しない
国連番号	該当しない
容器等級	該当しない

国内規制

陸上輸送	消防法に該当しない。
海上輸送	船舶安全法に該当しない。
航空輸送	航空法に該当しない。

輸送の特定の安全対策及び条件

運搬に際しては容器に洩れの無いことを確かめ、転倒、落下、損傷の無いように積み込み、荷崩れ防止を確実に行う。

直射日光を避ける。

漏出時は“漏出時の措置”の項を参照のこと。

緊急時応急措置指針番号 指針番号：なし

15. 適用法令

消防法	該当しない
労働安全衛生法	第57条の2、通知物質：該当しない 第57上の1、表示物質：該当しない 有機溶剤中毒予防規則：該当しない

毒物及び劇物取締法	該当しない
船舶安全法	該当しない
航空法	該当しない
化学物質管理促進法	該当しない

16. その他の情報

文献

各法令集、その他

ここに示す情報は、現時点で入手できる資料、情報に基づいて誠意を持って作成しておりますが、記載のデータや評価に関していかなる保証をなすものではありません。また新しい知見に基づいて改訂される場合があります。全ての化学物質には未知の有害性があり得るため、取り扱いには細心の注意が必要です。御使用者の各位の責任において、安全な使用条件を設定下さいますようお願い致します。また特別な取り扱いをされる場合には、新たに用途、用法に適した安全対策を実施の上、お取り扱いをお願い致します。